



2025年5月16日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロス・福証Q-Board)

問い合わせ先 常務執行役員 辻本 拓
財務 IR 部長

TEL. 03-5937-6466

当社保有の ENECHANGE 社株式の一部売却に関するお知らせ

当社は、ENECHANGE 株式会社（本社：東京都中央区、証券コード：4169、以下「ENECHANGE 社」といいます。）と業務提携契約を 2025 年 2 月 3 日に締結し、業務提携内容が順調に進捗している状況となり、保有している ENECHANGE 社株式を段階的に売却をしておりましたが、この度取得意向のある機関投資家に当社保有の ENECHANGE 社株式 370 万株（発行済み株式総数に対する比率 8.69%）を売却しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. ENECHANGE 社株式の売却の背景

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、WEB マーケティング×セールスの融合で、企業の経営課題を成果報酬型で解決する成約支援事業を展開しております。エネルギー領域では、当社グループでの電力年間成約件数は 30 万件規模であり、国内最大規模の電力成約支援事業者（※1）となります。

ENECHANGE 社は電気代の見直しを契機にした電力切替プラットフォームとして国内最大級であり、当社は WEB マーケティングとセールスの融合で、主に引越しを契機にした成約支援により電力年間成約件数規模で国内最大規模の事業者であることから、両社の強みを生かして協業関係を構築することで電力事業者向け支援サービスにおける強力なシナジーを創出することができるとの考えのもと、2025 年 2 月 3 日に業務提携契約を締結し、主に以下の事項に関する業務提携について、順調に進捗しており、今期（2026 年 3 月期）の当社業績にも寄与するものと見込んでおります。

（業務提携の主な内容）

- ・電力・ガス案件の商流活用による市場内プレゼンス向上及び両社の成約件数拡大と収益の最大化
- ・ENECHANGE 社の電力・ガスの切替えプラットフォームの活用
- ・小売電力・ガス事業者向けの DX をはじめとした共同での新規事業開発。

また業務提携契約において、業務提携（複数の所定の条件に基づく商流活用対象案件における 目標等を含む）に関して、ENECHANGE 社に重大な違反がないことを含め複数の所定の条件が充足されている 場合において、当社が保有する ENECHANGE 社株式（売却開始前で発行済み株式総数に対する比率 14.83%）を、当社の最終的な持分比率が完全希釈化ベース議決権割合で 5%未満となるよう、ENECHANGE 社株式の市場価格に悪影響を与えないような時期、条件及び 方法で段階的に売却することも ENECHANGE 社との間で合意しており、段階的な売却を進めておりました。

そのような中で、ENECHANGE 社株式を取得意向のある機関投資家に対して、当社保有の ENECHANGE 社株式を 370 万株（発行済み株式総数に対する比率 8.69%）売却することといたしました。

※1 「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

2. ENECHANGE 社株式売却の内容

対象株式	ENECHANGE 社普通株式
売却株式数	3,700,000 株（発行済み株式総数に対する比率 8.69%）
売却株価	1 株当たり 320 円
売却総額	1,184,000,000 円
売却日	2025 年 5 月 16 日
売却先	Briarwood Capital Partners LP

（ご参考）累計での売却と売却後の保有株数

売却開始前の保有株式数	6,315,400 株（発行済み株式総数に対する比率 14.83%）
今回の売却を含めた 累計売却株式数	5,036,100 株（発行済み株式総数に対する比率 11.82%）
売却後の保有株式数	1,279,300 株（発行済み株式総数に対する比率 3.00%）

3. 今後の見通し

今回及び累計での売却で得た資金については、当社の M&A、資本業務提携等を含めた成長投資に積極的に活用していく方針であります。ENECHANGE 社との業務提携進捗状況含めて今後開示が必要な状況となりましたら、速やかに公表いたします。

なお、当社は、国際財務報告基準（IFRS）を適用しており、連結決算において本件売却に伴う売却損益はその他の包括利益として処理されるため、連結業績への影響はありません。また、単体業績（日本基準）への影響は軽微であります。

以 上